

## 平和構築と紛争予防月間

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 長戸 はるみ



今月は平和構築と紛争予防月間です。平和構築のため日々力を尽くすロータリアンの意志を結集して「ロータリー平和センター」が設立されたのは 2002 年のことでした。ロータリー平和センターは世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育てる等を目的とし、現在世界の 6 か国で活発な活動を展開しています。創立以来、140 を超える国々から 1600 人以上の平和フェローを輩出し、その多くの人材が今や世界中の多種多様な機関、団体の要職に就いて平和を目指す任務に取り組んでいます。

日本では国際基督教大学（ICU）にロータリー平和センターが設置されており、この平和センターを卒業したフェロー達は今や 150 名を超えます。しかし日本国内から海外に派遣した平和フェローは 37 名に過ぎません（2019 年 7 月現在）。一人でも多く若き日本人平和フェローを、海外の平和センターへ送り出すことが私達の希望でもあります。

昨年 12 月、ロータリー研究会へ出席するため来日されたアーチック RI 会長は、ICU をご訪問されました。また今月には世界 7 番目となる平和センターが、トルコのバーチェシエヒル大学に新しく開設され、2 月には早速世界平和会議も開催されます。当地区でも参加される方がいらっしゃるの、ご報告を今から楽しみにしています。

ロータリーでは奉仕プロジェクト、平和フェローシップ、奨学金など様々な形で、紛争の根底にある諸問題に取り組んでいます。紛争に巻き込まれば、女性や子ども達の多くが被害を避けられません。生まれ育った自分の国に住めず難民として他国へ逃れて生活することになり、手厚い教育を受ける望みは絶たれ、学校へ通う事すらできなくなってしまいます。隣国と地続きではない日本にいるとなかなか難民という立場を実感しにくいものですが、インターネット等特にマイロータリーを活用して、情報を少しでも把握してみてください。

国連難民高等弁務官として、日本で 2 人目のロータリー財団奨学生である緒方貞子氏が退任された後も、日本人職員の約 1 割を占めるロータリー財団学友達には、今なおロータリー精神が根付いて受け継がれているそうです。

ガバナー年度も早いもので残り半年となりました。2 月も大切な行事が目白押しですが、楽しんで出席させていただきます。

- 2 月 8 日 ローターアクト地区年次大会（パシフィコ会議センター）
- 2 月 9 日～13 日 大塚ガバナーエレクト・国際協議会（オランダ）
- 2 月 16 日 RLI 卒後コース（聖光学院）
- 2 月 19 日 川崎北 RC 創立 65 周年記念式典（ウェスティン横浜 H）
- 2 月 21 日 横浜東 RC 創立 70 周年記念式典（横浜ベイシェラトン H）
- 2 月 23 日 ロータリー創立記念日
- 2 月 26 日 ロータリー財団学友・米山学友によるチャリティーコンサート（はまぎんホール）
- 2 月 28 日 次年度地区チームラーニングセミナー（ソシア 21）

追伸：

2024 年 12 月 12 日～15 日の日程で今年度もロータリー研究会が開催され、水野功 RI 理事招集のもと、アーチック RI 会長、ロータリー財団管理委員長マローニご夫妻が来日されました。

11日のICU訪問では、RI会長と平和フェローとの意見交換がなされ、当地区からも57名が参加した「Heal the world チャリティディナー」ではウクライナ支援に寄せて、皆様から多額のご寄付が集まりました（後日ロータリー研究会事務局より、902,550円の社会福祉法人福田会への送金報告がございました）

13日の「歓迎晩餐会」では当地区ロータリー財団奨学生・佐々木諒太さんによるサクソ演奏、14日の「Irresistible Yokohama Night」では 第2580地区石川彌八郎ガバナーによるハーモニカ演奏と、当地区米山学友・王蓉さんの二胡との共演を楽しみました。

ちなみに15日のパートナープログラムの茶話会では、私も琴の演奏をさせて頂きました。



## 上半期を振り返って

### 地区幹事 森 高繁（横浜東）

長戸ガバナー年度の地区幹事として就任し半年が過ぎました。そこでこの半年を振り返ってみたいと思います。長戸ガバナーの地区幹事としてお手伝いさせていただくこととなったのは実質的には、2023年の11月ごろから始まったと思います。次年度の役員選任から委員長の委嘱、次年度のガバナー補佐研修など1月ごろまでに決定、予定の確認等をし、3月には、PETSの開催、横浜港北RCをホストクラブとして久々の対面形式で行った地区研修・協議会の開催（聖光学院）等、大変密度の濃い3か月となりました。その間私自身が体調を崩し皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

4月以降は、地区役員・委員長の引継会議、クラブ事務局員連絡会等を開催し、7月からの新年度を迎えることとなりました。その矢先に長戸ガバナーがひざの負傷により入院ということで7月の後半の公式訪問中止、これにより公式訪問の日程変更など年度当初から波乱含みとなりました。長戸ガバナーも8月には無事復帰され公式訪問を再開。その後は予定通り11月1日にはすべてのクラブへの公式訪問を終えることが出来ました。

また、主な行事としては、10月6日ポリオデーイベント（横浜市役所アトリウム）、10月8日地区大会チャリティーゴルフ大会（ホスト横浜鶴見北RC／相模原GC）、11月15、16日地区大会（ホスト横浜東RC／ベイシェラトン／パシフィコ横浜）等いずれの行事におきましてもホストクラブの皆様はじめ各役員及び委員長、委員会の皆様のご協力により滞りなく盛大に開催できたこと心より感謝申し上げます。

各委員会に於いてもこの半年の間で当初の予定を滞りなく開催していただき、各委員長、委員会の皆様におかれましては心よりお礼申し上げます。

年度後半には、1月のRYLA、2月のチャリティーコンサート等各プログラムが予定されております。長戸ガバナーはじめ各役員、委員長の皆様と協力して努めてまいりたいと思いますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

その他、地区幹事としてガバナー事務所内の対応に追われる半年となりました。近年、ガバナー事務所においても人員不足の問題を抱えており、年初より紹介の依頼やハローワーク等による募集、面接等、人員の補充を試みました。12月現在派遣社員を加え落ち着いているところですが、人員の補充は次年度以降の課題とも考えております。

最後になりますが、地区内のすべてのクラブ会員の皆様に感謝の気持ちをお伝え申し上げます。引き続きご指導、ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

